

付着生物(ユウレイボヤ等) ラーバ情報

平成29年1月6日～9日に陸奥湾4定点で付着生物(ユウレイボヤ等) ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

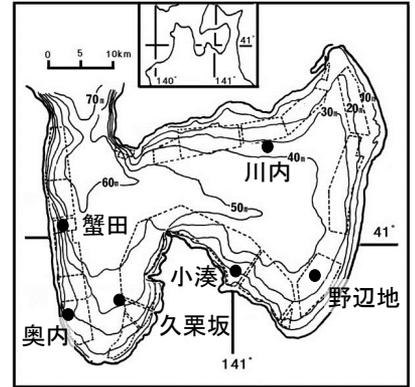


図1 ラーバ調査地点

1 ラーバ等の出現数

(1) キヌマトイガイ (コメガキ)

ラーバは、小湊沖で16.3個体/m³、野辺地沖で333.6個体/m³、川内沖で0.8個体/m³見られ(表1、図2)、平成28年12月9日～平成29年1月6日まで久栗坂沖、川内沖で実施した付着基質調査でも付着が見られました。

(2) ムラサキイガイ

ラーバは、久栗坂沖で3.9個体/m³、小湊沖で11.3個体/m³、野辺地沖で7.0個体/m³、川内沖で19.5個体/m³見られ(表1、図3)、上記の久栗坂沖、川内沖における付着基質調査でも付着が見られました。

(3) その他

ユウレイボヤのラーバとオベリア(クサ)のクラゲは見られませんでした。

表1 ラーバ等の出現数

調査地点	調査月日	キヌマトイガイ	ムラサキイガイ
久栗坂沖	H29.1.6	0.0	3.9
小湊沖	H29.1.9	16.3	11.3
野辺地沖	H29.1.8	333.6	7.0
川内沖	H29.1.6	0.8	19.5

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

単位: 個体/m³

2 水温の状況

各ブイ中層の1月15日の日平均水温は、表2のとおりで、西湾では8～9℃台、東湾では4～7℃台です。

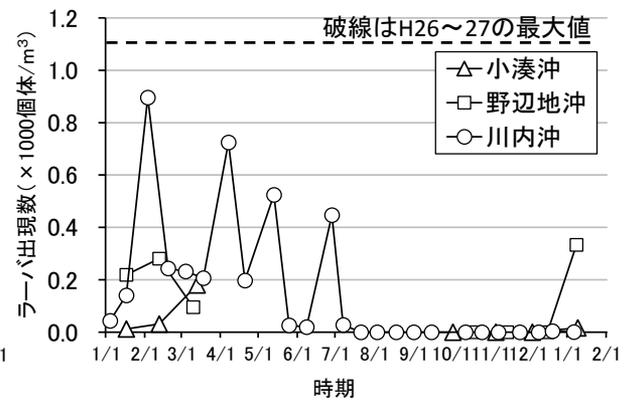
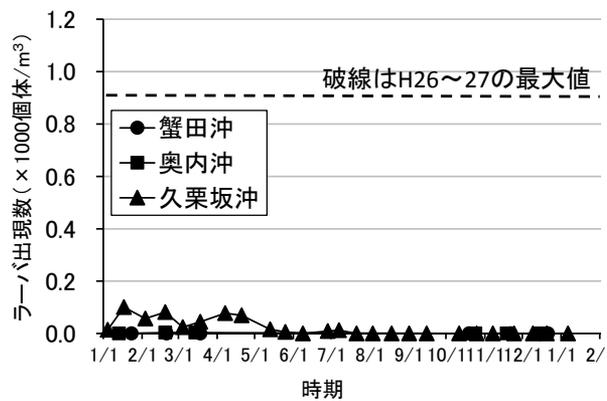


図2 キヌマトイガイラーバ出現数の推移(平成28年1月～平成29年1月)

3 今後の見込み

(1) キヌマトイガイ

ラーバの出現や付着基質への付着が昨年より早いことから、早い時期に籠や耳吊り、マボヤ採苗器へ付着し、今後、ラーバ出現数の増加と共に付着が進むと思われる。

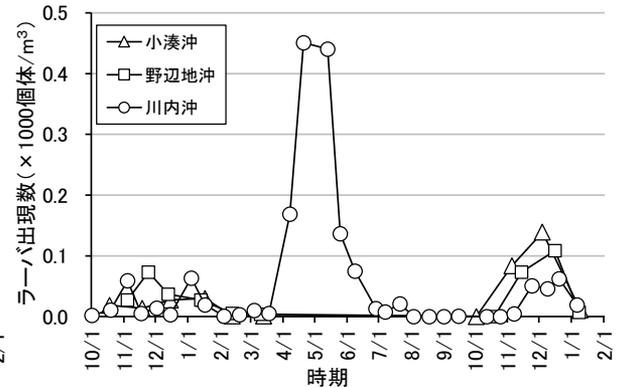
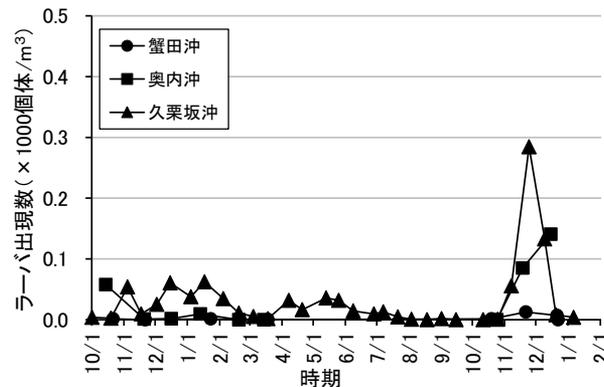


図3 ムラサキイガイラーバ出現数の推移(平成27年10月～平成29年1月)

(2) ムラサキイガイ

冬季のラーバ出現数は昨年より多いものの、4定点で出現が終息したため、冬季に出現したラーバの今後の付着は少ないと思われる。

(3) その他

秋の分散後におけるユウレイボヤのラーバ出現数は少なかったため、今春の出荷時には大型個体の付着は少ないと思われる。

オベリア(クサ)のクラゲは、これから春にかけて出現すると思われる。

表2 各ブイ中層の日平均水温

西湾観測地点	水温(°C)	東湾観測地点	水温(°C)
平館ブイ	9.9	東田沢ブイ	7.4
蓬田ブイ	8.6	野辺地ブイ	6.7
奥内ブイ	8.0	横浜ブイ	4.8
青森ブイ	8.1	浜奥内ブイ	4.5
浦田ブイ	欠測	川内ブイ	5.1
		東湾ブイ	6.0

※平館、青森、東湾は15m層、それ以外は10m層



①



②